

働く意義を考える

朝日建設（富山市）の林和夫社長が26日、氷見市西部中学校で「学ぶこと、働くこと」と題して講演＝写真、2年生35人が熱心に聴き入った。

林社長は、経営の神様と称される松下幸之助氏や大リーガー・イチロー選手らの言葉を紹介し、伸びる人の3要素に▽素直さ▽プラス発想▽勉強好き一を挙げた。

「働」の語源が「端（はた）が楽になる。つまり周りの人が楽になること」と説明し「働くとは、自分のためではなく人や地域社会の役に立つことだ」と強調した。

人生の先輩の話聞き、職業観の形成に役立てようと、同校が富山経済同友会に講師派遣を依頼した。



「学ぶこと、働くこと」を題して講演する林氏
＝氷見市西部中

夫朝日建設社長が「学ぶこと、働くこと」を題して講演した。林氏は学

富山経済同友会の課日、氷見市西部中で行われ、常任幹事の林和夫

富山経済同友会の林氏 氷見・西部中で講演

正しい考え方知って

問や読書を通じ、正しい考え方を身に付けてほしいと励ました。

林氏は稲盛和夫京セラ名譽会長らの言葉を引用し、能力は「才能」「経験」「意欲」「考え方」の掛け算からなるを紹介し、「能力が高くても考え方がネガティブではマイナスになる。正しい考え方が最も大切」と指摘した。林氏は「読書は情報が得られ、考え方、書き方を学ぶことができる」と呼び掛けた。

平成22年5月27日（木）北日本新聞

平成22年5月27日（木）富山新聞